

日本共産党 青森市政だより

発行 日本共産党青森市議団
〒030-0822 青森市中央1-22-5 市議会日本共産党控室

連絡先

市議会日本共産党控室 ☎ 017-734-1111
(内線) 6017
直通・FAX兼用 ☎ 017-722-8904
メールアドレス kyousant@grace.ocn.ne.jp
日本共産党東青地区委員会 ☎ 017-777-7241

ご意見・ご相談をお気軽にお寄せ下さい。

議会 報告



サボテン



左から、山脇市議、藤原市議団長、天内市議、舘田市議、葛西市議、村川市議（12月28日さくら野前での年末恒例の街頭演説）

消費税10%はキツパリ中止を 国民の声が生きる政治へ くらし・雇用・農林漁業まもる経済政策を

日本共産党

憲法9条を守る

子どもたちに平和な未来を

新年あけましておめでとうございます。安党内閣は年内にも憲法9条の改憲発議をし、国民投票の実施を行おうとしています。戦後日本が築き上げてきた平和を守るのかどうか、重要な闘いの年となります。1月4日から、市役所はアウガに移転し、駅前庁舎としてオープンしました。周辺の交通渋滞を懸念する声が市民から聞こえています。みなさんの声を聞き、不便な点や問題点などについて、改善を求めていきます。アウガの経営破綻をめぐり、百条委員会の調査が進む中で、国や市の補助金が使われた事業での見積もり合わせによる価格調整、架空請求などの不正が行われていた事実が次々と明らかになりました。さらに百条委員会に提出された資料では、アウガは平成21年にすでに債務超過に陥り、事業継続が困難だと分かっていたにもかかわらず、それを市側が議会に隠し、2億円もの市税の投入が議決された疑いも出てきました。

今年市議選の年で、共産党市議団は、これからも市民が主役の市政実現のために頑張ります。 「こんにちは、憲法くんです。 姓は『日本国』 名は『憲法』です。 すこしとつきにくい名前です。 だからともだちみたいに「憲法くん」と呼んでください。」と始まる絵本「憲法くん」。書いたのは、コメディアン松元ヒロさん。憲法守れと20年続けてきた一人芝居「憲法くん」を絵本にしました。 一人芝居は、ネットの動画サイトで見る事ができます。▼最近こんなせりふを加えたそうです。 「変なうわさを耳にしたんですけど、本当ですか。 私がリストラされるかもしれないという話」これまで散々憲法を踏みつけてきた安倍首相が憲法9条の明文改憲を言い出したからです。▼9条があったからこそ、日本は戦後70年以上戦争をしてきませんでした。▼作家の瀬戸内寂聴さんやノーベル賞受賞者の益川敏英さんら19人の呼びかけで『安倍9条改憲NO!』の署名を3千万人分集めようという運動が始まりました。日本共産党も幅広い皆さんと協力して、草の根で署名を集めていきます。是非ご協力ください。



天内しんや

天内慎也市議は、12月6日の一般質問で「市民病院と浪岡病院の経営改善と今後のあり方について、有識者会議において議論しているが、それを支援室を設置すること」などの方針を示しました。

浪岡病院に関しては「近年の病床利用率を勘案し、92床から57床削減し、35床規模で浪岡病院を建て替えし、平成33年度開設を目指す。精神病床は、国の方針で平成30年度中に廃止に向けて、

浪岡病院建て替えし存続へ 病床削減はストップを

患者や家族の理解を得ながら福祉施設への移行を調整する。引き続き救急患者の受け入れを継続し、在宅療養支援病院の認定に向け検討すること」などの方針を示しました。

市内市議は「青森県地域医療構想では、とりわけ浪岡病院について病床規模縮小と診療所化が示されているが、なぜ病院として建て替える必要が断じたのか」と質問すると、木村市民病院事務局

や浪岡自治区地域協議会等の住民の意見を尊重した」と答えました。

天内市議は「病院として存続することに對しては、住民を代表する立場として安堵している」としながらも、「病床削減の根拠は、医師不足や経済的理由で、病院に行きたくても行けない方がカウントされていない」と指摘し「大事なベッドを残す必要がある」と強く訴えました。



村川みどり

12月7日の一般質問で、村川みどり市議は、兄弟姉妹で別々の保育所に預けている保護者の声を紹介。「送り迎えも大変だし、行事に参加するのも大変。なんとかしてほしい。」

村川市議は、兄弟姉妹で入所している保育所等への入所を希望しているが、入所または転所できない児童数と、解消策を求めました。

能代谷潤治福祉部長は「12月1日現在における保育所及び認定子ども園の入所者数は、7127人であり、兄弟姉妹が同じ保育所に入所している児童数は1538人と

兄弟姉妹で別々の保育所 同じ保育所に入所できるよう改善求める

希望通り入所できていない児童数は42人であり、その内訳として、●兄弟姉妹が入所している保育所等への新規入所を希望している児童数28人

●兄弟姉妹と異なる保育所等にすでに入所しているが、同じ保育所に転所を希望している児童数が8人

また平成27年度からは、新たな選考基準を定め、これまで以上に兄弟姉妹が同じ保育所に入所できるようにしてきた。保育に必要な面積及び保育士

数の要件を満たしている場合には、定員を超えた入所措置をおこなういわゆる定員の弾力化を活用し、できるだけ兄弟姉妹が同じ施設を利用できるように配慮している。さらに弾力化を活用してもすべてに対応できない状況である場合には、翌年度当初の入所選考において、優先的に入所できるように利用調整を行い、同じ保育所に入所できるように努めている」と答弁。

これに対し村川市議は「今の答弁はこれまでの取り組みの説明だけであり、現在大変な思いで子育てしている方に対し、具体的な何をするのか、再度答弁を求めました。能代谷福祉部長は「子ども子育て支援事業計画

藤原浩平市議は、わが党の葛西育弘議員が5年前から求め続けてきた「除雪車両にGPSシステム導入」が実現したことでのような評価と実績があったのかとたずねた。

「除雪作業の効率化が図られた」 GPSシステム導入 開のほか、委託料の算出や作業日報の作成などの機能をあらたに追加して、委託料算出や作業完了路線を把握するまでの時間が短縮されるなど、除雪作業管理の効率化に効果があるものと考えています。



かさい育弘

葛西育弘市議は、11月21日に開催された民生環境常任委員会において、ごみの減量化対策について質問しました。

走る広告塔 ラッピング車の増大を

生ごみ減量化PRへ 葛西市議は「来年度はもっともPRをしよう」とPRをしようとしている。ごみの減量化に



生ごみ減量化PRをラッピングしたごみ収集車

葛西市議は「これまで対策を求めてきた清掃工場の受け入れ態勢の整備などによって事業系の可燃ごみは減ってきている。一方で家庭系のごみの減量は限界に近い部分もあると思うが、生ごみの『切る』という部分を重視するのであれば、ラッピングをしたごみ収集車を増やすべき。もっと収集車を保有している会社に協力を求めるべきではないか」と質問しました。



館田るみ子

低年金でも入所できる 特養ホームの増設を

市が策定中の第7期の「青森市高齢者福祉・介護保険事業計画」によれば特養ホームに入所を申し込んでいる在宅の待機者が132人います。

館田市議は「特養に入りにくても空きがないので、とりあえず他の施設に入居して待っている人はどの位いるのか」と聞いたところ「在宅以外の施設で待機している人は304名」と答弁があり、



山脇さとし

アウガ地階賃借料 12倍の差 1坪最低1926円 最高23500円 行政の公平性はどこへ

山脇さとし市議は、予算委員会において、市が青森駅前再開発ビル株式会社から引き継いだ、アウガ地階の賃借契約について質問しました。

山脇さとし市議は、予

会社の契約を市がそのまま引き継いだもので、一つ一つの契約内容までは精査していない」と答弁しました。

駅前庁舎

交通渋滞・館内環境など、多くの課題

1月4日から総合窓口が開設



駅前庁舎 総合窓口

市役所庁舎の窓口機能が駅前のアウガへ移転をし、本格的な運用が始まりました。開庁時間は、平日が8時～18時、土日・祝日が9時～17時となり、市役所での証明書の発行や手続きは、すべて総合窓口で取り扱うことになりました。

12月議会最終日、3階建てで新庁舎を現在地に建て替える議案が提出されました。

山脇市議は、反対討論を行い「まだ本格運用前にもかかわらず、トイレが満員で公園のトイレを使っているという職員の声や、実際訪れてみると窓がなく照明も暗いため、日中でも電気スタンドを使っている職員もいる。乾燥がひどく至る所で加湿機が作動している。また必要な書類などを置くスペースも不足している」といった声も上がっている。総合窓口の運用が始まれば、周辺の交通渋滞の問題も心配される」と職員や市民の声を紹介。

さらに「本格運用を待たず、新庁舎を3階建てという最低限の規模で建設することを決めてしまえば、今後駅前庁舎に問題が出てきた場合の対応策も、限定されてしまう。市長や議員が、市民から離れた別の場所で仕事をするといいのか疑問だ。建設の費用は大幅に抑えられているが、今後利用される市民のみならず、市職員に多くの不便を恒久的にかけることになる提案には賛成できない」と問題点を指摘しました。

賛成討論はありませんでしたが、共産党と市民党以外の賛成で議案は可決されました。

総合窓口開設後には市民から、「相談室のプライバシーが確保されていない。魚の臭いがひどい。」といった声が寄せられています。

新庁舎の利用などでご不便な点などありましたら、改善を提案してまいりますので、共産党市議団までご意見をお寄せください。

花岡プラザ



花岡プラザ

他県業者が指定管理 地元の経済・雇用を守れ

平成30年4月1日から、花岡公園及び花岡ラザ、花岡公園及び花岡5年間、健康の森花岡プラザ、農村環境改善センターの3施設を一括管理する指定管理者を指定するための議案が提案されました。

指定管理者には2者から応募があり、採点の結果、地元業者とわずかに0.47点の差で秋田市に本社を置く業者が決まりました。

市内では、この業者が秋田県内で、公の施設の指定管理の実績があるので、浪岡地区での連携も問題ないという回答を繰り返しました。

指定管理者には「地元業者との差がわずかなのであれば、地域経済や地元雇用を考えると、他県の民間会社への委託は納得できない」と指摘し、評価項目にある「浪岡地区における「地域と連携」という項目をどう担保するのか問いたただきました。

市は、この業者が秋田県内で、公の施設の指定管理の実績があるので、浪岡地区での連携も問題ないという回答を繰り返しました。

指定管理者には「地元業者との差がわずかなのであれば、地域経済や地元雇用を考えると、他県の業者はたちうきなくなくなり、賛成で民生環境常任委員会では、自明清風会、自由民主党、公明党が全員賛成、新政無所属の会と社民党はひとりを除いて賛成にまわり、賛成22、反対12で、県外業者の指定管理者に決まりました。

会派の態度

請願・意見書

請願・意見書	共	自清	新政	社	市ク	公	自民	無
契約の締結について (青森市役所新市庁舎建設電気設備工事) (青森市役所新市庁舎機械設備工事) (青森市役所新市庁舎建設工事)	可決	×	○	○	×	○	○	○
公の施設の指定管理者の指定について (花岡農村環境センター・花岡プラザ・花岡公園)	可決	×	△	△	△	○	○	○
国保税の引き上げを行わないことを求める 請願	不採択	×	×	○	×	×	×	×
介護保険料の引き上げを行わないことを 求める請願	不採択	×	×	○	×	×	×	×
若い人も高齢者も安心できる年金を求める 意見書	否決	○	×	○	×	×	×	×

共↓共産党、自清↓自明清風会、新政↓新政無所属の会、社↓社民党
市ク↓市民クラブ、公↓公明党、自民↓自由民主党、無↓無所属
(○)↓賛成、(×)↓反対、(△)↓一部賛成